

高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第4週[1月24日～1月30日]

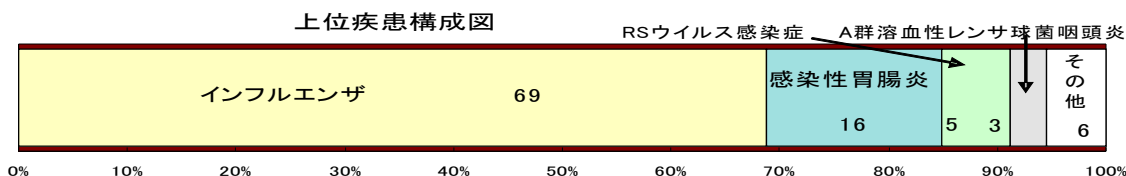
高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>
 E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

県内情報

○ 患者情報総評

注意報発令疾患：インフルエンザ

- ・ 晴れの日が続いているが、気温は低く空気は乾燥している。
- ・ インフルエンザ（高知市：注意報→警報，中央東：注意報→注意報，中央西：注意報→注意報，幡多：注意報，安芸：注意報）は引き続き全ての地域で増加し、総数は前週の1.7倍増となった。
- ・ 感染性胃腸炎（安芸：注意報）は中央東と高幡では減少したが、その他の地域で増加または横ばいとなり、総数はやや増加した。
- ・ 水痘（高幡：注意報→警報，高知市：警報→注意報，安芸：注意報→注意報）は高幡で増加したが、幡多では横ばい，その他の地域では減少した。総数は大幅に減少し注意報値を下回った。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（幡多：注意報→警報，高幡：注意報→注意報）は幡多で2.1倍に増加し、警報値を上回った。高幡では引き続き注意報値を超しており、注意が必要である。



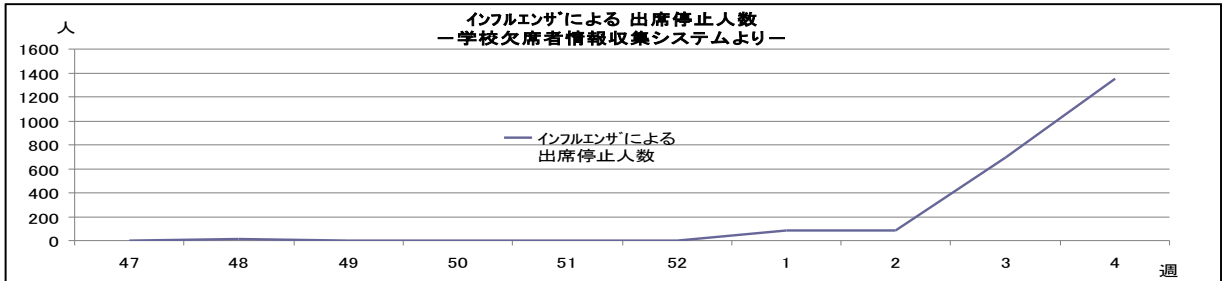
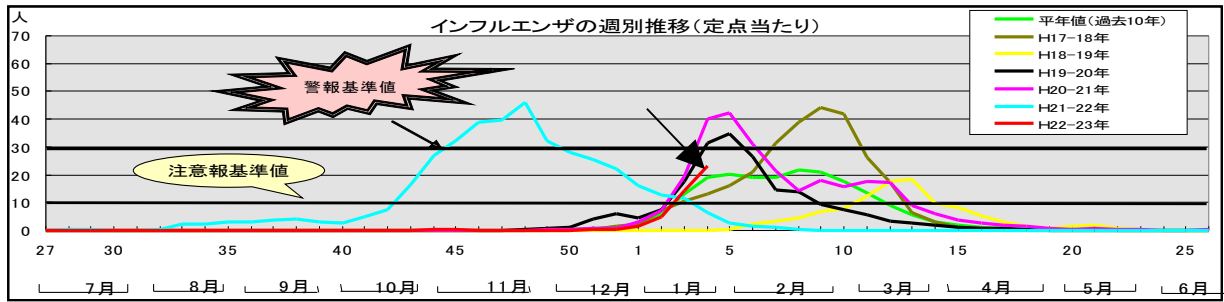
地域別感染症注意報・警報発生状況

第4報（2011年1月24日～2011年1月30日）



インフルエンザ：今週23.29（注意報値：10.00 警報値：30.00）

地域毎にみると、高知市で警報値を超し、高幡を除く地域で注意報値を超している。また、年齢別でみると、5～9歳が27.0%，10～14歳が18.8%，1～4歳が13.2%の順で報告が多い。今週はAH1pdmのみ、18件検出されている。また、施設別発生状況では、1幼稚園，6小学校，1中学校，その他2施設で患者数250名となり、学級・学年閉鎖，休校の措置が取られた。今後も流行のピークに向かって報告数の増加が続くと思われるので注意が必要である。



「学校欠席者情報収集システム」…高知県教育委員会で、学校における欠席等の情報を即時に収集するシステムとして、平成21年11月より全県的に導入されている

○ 検査情報

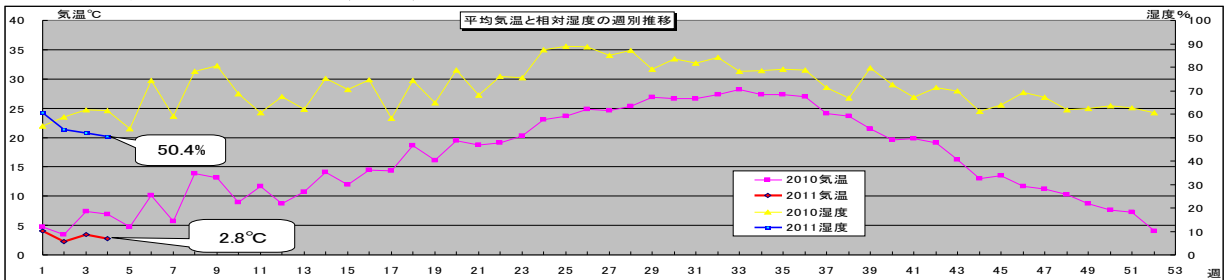
インフルエンザ (Influenza virus AH1pdmのみ)が18件検出された。

地域	年齢区分										総計
	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	不明	
高知市	2	1	1							1	5
高幡		2		3		4	3		1		13
総計	2	3	1	3	0	4	3	0	1	1	18

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 4例 (27歳女, 79歳男) 《高知市》 (93歳女) 《幡多》 (58歳男) 《中央東》 (今年14例)

○ 高知県の平均気温と湿度 (週別)



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《さたけ小児科》：アデノウイルス感染症 2例 (0, 4歳男) マイコプラズマ肺炎 1例 (2歳男)
インフルエンザの4例中3例はA型陽性, 1例はB型陽性

《渭南病院小児科》：インフルエンザの69例中8例はA型陽性 (予防接種歴なし), 60例はB型陽性 (うち16例は予防接種歴あり, 44例はなし)

《こいけクリニック》：インフルエンザの9例中5例はA型陽性, 4例はB型陽性
肺炎の小児が多発している

《松谷内科》：インフルエンザの9例中5例はA型陽性, 4例はB型陽性

高幡：

《もりはた小児科》：インフルエンザの17例は全てA型陽性, うち1例は予防接種歴あり
感染性胃腸炎の9例中2例はロタウイルス陽性

《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの14例は全てA型陽性

《くぼかわ病院内科》：インフルエンザの2例はA型陽性

中央西：

《石黒小児科》：インフルエンザの28例は全てA型陽性, うち9例は予防接種歴あり
水痘の1例 (3歳女) は予防接種済み

《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの22例は全てA型陽性，うち4例は予防接種歴あり
感染性胃腸炎の1例（1歳女）は中土佐町，1例（3ヵ月男）は県外から帰省

《岡本内科》：インフルエンザの13例中2例は予防接種歴あり

高知市：

《細木病院小児科》：ノロウイルス陽性 1例（8歳男） （2週）カンピロバクター腸炎 1例（10歳男）

《矢野小児科》：インフルエンザの50例中6例は予防接種歴あり

《福井小児科内科》：インフルエンザの24例中19例はA型陽性，1例はB型陽性，うち4例は予防接種歴あり

《三愛病院小児科》：インフルエンザの23例中1例（7歳女）はB型陽性

《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの83例中82例はA型陽性，1例はB型陽性，うち16例は
予防接種歴あり アデノウイルス扁桃炎 1例（3歳）

《依岡内科》：インフルエンザの13例中1例は予防接種歴あり

《高知医療センター小児科》：インフルエンザの8例は全てA型陽性，うち2例は予防接種歴あり

《細木病院内科》：インフルエンザの17例は全てA型陽性，うち予防接種歴ありは5例，なしは8例

《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの33例中26例はA型陽性，1例はB型陽性，6例は臨床診断，うち
予防接種歴ありは7例，なしは21例

《近森病院内科》：インフルエンザの46例中41例はA型陽性，予防接種歴ありは3例，なしは6例

《高知医療センター内科》：インフルエンザの13例は全てA型陽性，うち予防接種歴ありは2例

中央東：

《高知大学医学部附属病院小児科》：インフルエンザの22例中12例はA型陽性，うち1例（1歳男）はRSウイルス陽性
マイコプラズマ肺炎 1例（7歳女）
感染性胃腸炎の1例（5歳男）はロタウイルス陽性

《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの12例は全てA型陽性

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの72例は全てA型陽性

《野市中央病院小児科》：インフルエンザの8例は全てA型陽性，うち予防接種歴ありは3例，なしは5例

《早明浦病院小児科》：インフルエンザの4例は全てA型陽性，予防接種歴なし

感染性胃腸炎は引き続き増加

《いちほら内科小児科》：インフルエンザの55例中53例はA型陽性，2例はB型陽性

《JA高知病院内科》：インフルエンザの32例は全てA型陽性

《野市中央病院内科》：インフルエンザの48例中43例はA型陽性，5例はB型陽性

安芸：

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの13例中7例はA型陽性

《田野病院小児科》：インフルエンザの29例中28例はA型陽性

《県立安芸病院内科》：インフルエンザの1例はA型陽性，予防接種歴なし

全国情報第2週（1/10～1/16）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核222例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症16例（有症者12例、うちHUSなし）

4類感染症：A型肝炎2例、つつが虫病7例、デング熱3例、ボツリヌス症1例、レジオネラ症7例

5類感染症：アメーバ赤痢6例、ウイルス性肝炎（B型）3例、急性脳炎6例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群10例（AIDS 2例、無症候8例）、梅毒7
例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、麻しん1例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、パラチフス1例、レジオネラ症1例、急性脳炎6例、クリプトスポリジウム症1例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例

◆インフルエンザ

2011年第2週のインフルエンザの定点当たり報告数は12.09（報告数59,832）となり、第42週以降13週連続で増加が続いている。都道府県別では沖縄県（55.26）、佐賀県（27.87）、福岡県（24.81）、宮崎県（24.08）、長崎県（20.43）、大分県（19.98）、宮城県（17.82）、千葉県（17.56）、鹿児島県（16.97）、群馬県（16.42）の順となっている。全ての都道府県で定点当たり報告数の増加がみられており、26県で10.00を上回った。沖縄、九州地方の各県と、千葉県、群馬県、山形県の増加が目立っている。

定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診したインフルエンザ患者数を推計すると、2011年第2週は78万人（95%信頼区間：71万人～85万人）（暫定値）となり、第1週の37万人の2倍以上に増加した。78万人の内訳は男性約41万人（52.6%）、女性約37万人（47.4%）である。年齢群別では20～29歳約17万人（22.1%）、30～39歳約12万人（15.6%）、5～9歳約10万人（13.0%）、0～4歳8万人（10.4%）、40～49歳約8万人（10.4%）であり、20代以上が全報告数の58.4%を占めている。今後学校に通学している年齢群で報告数が大きく増加する可能性があるが、これまでのところは成人層が流行の中心であると考えられる。また、2010年第36週以降これまでの累積の推計受診患者数は165万人（95%信頼区間：158万人～172万人）（暫定値）であった。

2010年第36週～2011年第2週までの期間中に国内では2,057検体のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1pdm 1,094件、AH3亜型（A香港型）876件、B型87件とAH1pdmが最多を占めている。一方、2010年第50週～2011年第2週までの直近の5週間では、総検出報告数1,031検体中AH1pdm 765件（74.2%）、AH3亜型235件（22.8%）、B型31件（3.0%）であり、AH1pdmが7割以上を占めている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(3週)	高知県(4週末累計) H23/1/3~H23/1/30
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	44	297	515	112	33	117	1,118 (23.29)	677 (14.10)	130,515 (26.41)	2,098 (43.71)
小児科	咽頭結膜熱		1		1		4	6 (0.20)	4 (0.13)	1,101 (0.35)	39 (1.30)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	6	19	1	5	21	54 (1.80)	56 (1.87)	6,133 (1.95)	182 (6.07)
	感染性胃腸炎	28	72	82	31	12	36	261 (8.70)	249 (8.30)	28,866 (9.16)	1,032 (34.40)
	水痘	4	7	23	3	11	2	50 (1.67)	77 (2.57)	5,901 (1.87)	281 (9.37)
	手足口病		1	6	1	2		10 (0.33)	5 (0.17)	365 (0.12)	23 (0.77)
	伝染性紅斑			4				4 (0.13)	10 (0.33)	2,232 (0.71)	15 (0.50)
	突発性発疹	1		4	3			8 (0.27)	9 (0.30)	1,667 (0.53)	36 (1.20)
	百日咳		1					1 (0.03)	1 (0.03)	82 (0.03)	4 (0.13)
	ヘルパンギーナ			2			1	3 (0.10)	2 (0.07)	63 (0.02)	9 (0.30)
	流行性耳下腺炎			1			1	2 (0.07)	3 (0.10)	2,450 (0.78)	10 (0.33)
	RSウイルス感染症	4	10	62	1	3	22	102 (3.40)	87 (2.90)	2,414 (0.77)	317 (10.57)
眼科	急性出血性結膜炎									6 (0.01)	(0.00)
	流行性角結膜炎								2 (0.67)	373 (0.55)	4 (1.33)
基幹	細菌性髄膜炎			1				1 (0.14)		6 (0.01)	1 (0.14)
	無菌性髄膜炎			2				2 (0.29)		4 (0.01)	2 (0.29)
	マイコプラズマ肺炎			3				3 (0.43)	3 (0.43)	210 (0.45)	7 (1.00)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									8 (0.02)	(0.00)
計 (小児科定点当たり人数)	83 (30.50)	395 (41.00)	724 (50.64)	153 (36.07)	67 (25.25)	203 (31.83)	1,625 (39.99)				
前週 (小児科定点当たり人数)	59 (21.75)	334 (37.58)	518 (37.66)	114 (28.00)	56 (22.50)	104 (17.95)		1,185 (30.87)	182,396	4,060 (108.64)	

定点当たり

第4週

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(3週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ	11.00	27.00	32.19	22.40	8.25	14.63	23.29	14.10	26.41
小児科	咽頭結膜熱		0.14		0.33		0.80	0.20	0.13	0.35
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.86	1.73	0.33	2.50	4.20	1.80	1.87	1.95
	感染性胃腸炎	14.00	10.29	7.45	10.33	6.00	7.20	8.70	8.30	9.16
	水痘	2.00	1.00	2.09	1.00	5.50	0.40	1.67	2.57	1.87
	手足口病		0.14	0.55	0.33	1.00		0.33	0.17	0.12
	伝染性紅斑			0.36				0.13	0.33	0.71
	突発性発疹	0.50		0.36	1.00			0.27	0.30	0.53
	百日咳		0.14					0.03	0.03	0.03
	ヘルパンギーナ			0.18		0.50		0.10	0.07	0.02
	流行性耳下腺炎			0.09			0.20	0.07	0.10	0.78
	RSウイルス感染症	2.00	1.43	5.64	0.33	1.50	4.40	3.40	2.90	0.77
眼科	急性出血性結膜炎									0.01
	流行性角結膜炎								0.67	0.55
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.14		0.01
	無菌性髄膜炎			0.40				0.29		0.01
	マイコプラズマ肺炎			0.60				0.43	0.43	0.45
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.02
計 (小児科定点当たり人数)	30.50	41.00	50.64	36.07	25.25	31.83	39.99			
前週 (小児科定点当たり人数)	21.75	37.58	37.66	28.00	22.50	17.95		30.87		

2010年～2011年週報推移(定点当たり)

